

「同室 CT システムを用いた即時適応放射線治療の実現可能性を評価する 単施設後ろ向き調査研究」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2012 年 4 月～2025 年 8 月に山梨大学医学部附属病院放射線治療センターの第 1 リニアック室（Elekta Synergy：シナジー）にて悪性腫瘍に対して放射線治療を実施した 20 歳以上の患者さん

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025 年 9 月 26 日

4. 研究の目的

本研究は、日々の患者さんの体形に合わせた放射線治療を実現可能な「適応放射線治療」と呼ばれる技術に関して、これまでの方法（コーンビーム CT: CBCT を用いた方法）と高画質の同室 CT（治療室と同じ部屋にある CT 装置）を使った方法を比較し、特に後者の技術に関する物理的特性の利点を明らかにすることを目的としています。

5. 研究の方法

本研究はキヤノンメディカルシステムズ株式会社の受託研究として実施します。本研究では、過去に治療を受けられた際に位置合わせや治療計画変更のために撮影した患者さんの実際の画像を使用します。これらの情報を用いて、適応放射線治療に関して、これまでの方法（CBCT）と高画質の同室 CT システムを使った方法のそれぞれに関して、体内の臓器形状をどれくらい正確に捉えられるか、治療の線量がどれくらい正確に計算できるか、治療全体にかかる時間はどのくらいかを定量的に調査し、より安全で質の高い適応放射線治療の実現につなげることを目指します。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ、治療計画 CT 画像（初回時、および変更時のそれぞれ）、位置照合に使用した CBCT 画像 等

試料：該当なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 医学部放射線医学講座

教授 大西 洋

【委託元】

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。本研究は、キヤノンメディカルシステムズ株式会社から資金提供等を受けています。研究責任者及び分担研究者の利益相反については、山梨大学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切に審査されています。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学 医学部放射線医学講座 助教 齋藤正英

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部 放射線医学講座

メールアドレス：masahides@yamanashi.ac.jp

Tel：055-273-9579